

令和元年度 キャラバン・メイト養成研修 カリキュラム
(令和元年10月4日(金) 9:30~16:15)

内容	目的	標準	テキスト 該当章	担当者
I オリエンテーション 1 認知症サポーターキャラバンとは 2 研修主催自治体のキャラバン事業の取り組みについて 3 研修のねらい 4 サポーター養成講座の流れ 5 サポーターの活動事例、チームオレンジの概要紹介	①キャラバン、事業展開の趣旨を理解する。 ②自治体としての事業の位置づけの理解徹底。 ③認知症サポーター養成講座を開催するにあたって、どういった手順を踏んで実施するのか、その流れを学ぶ。	9:30 ~ 10:00 (30分)	序章 第4章	島根県
II 認知症サポーターに伝えたいこと ○認知症を理解する 認知症とはどういうものか 認知症の症状 中核症状 行動・心理症状とその支援 認知症の診断・治療 認知症予防についての考え方 認知症の人と接するときの心がまえ 認知症介護をしている人の気持ちを理解する	①認知症サポーター養成講座でサポーターに伝える内容について学習する。 ②認知症とはどういう病気なのか、認知症の人や介護をしている人をどう支援したらよいかを理解する。	10:00 ~ 12:00 (120分)	第1章	講師 濱田智津子医師
III 認知症サポーター養成講座の運営方法 1 認知症の人を地域で支える <u>グループワーク①</u> こんなとき、どこにつなげたらいいか考えてみよう ○地域ケアシステムで支える SOS便利帳をつくろう 地域包括支援センター、地域の社会資源をおさえる	①認知症の人を地域で支える視点。 ②認知症の人の助けになる地域の社会資源やネットワークをおさえる。			
2 キャラバン・メイトの役割と講座運営の実際 ○サポーター養成講座の企画・運営ポイント <u>グループワーク②</u> 講座の展開に協力してもらえそうな機関等はどこだろう …講座の開催先を考える <u>グループワーク③</u> 受講者に合わせたカリキュラムをつくってみよう	①キャラバン・メイトの役割の理解とサポーター養成講座の対象者の検討。 ②サポーター養成講座を展開するうえで協力してもらおう機関の洗い出し。 ③グループワーク②③の中で、認知症サポーターとしてできること(第2章該当)を押さえる。 ①サポーター養成講座の運営方法を確認する。 ②サポーター養成講座の企画や講座のポイントについて理解する。 ③サポーター養成講座受講対象者別カリキュラムの作成。	12:45 ~ 16:00 (195分)	第2章 第3章 第4章	講師 日野和子氏 補助 島根県
IV 事務連絡 キャラバン・メイト登録について アンケート回収 オレンジリング・修了証 授与		16:00 ~ 16:15 (15分)		島根県

※休憩時間を適宜はさむ

計 360分 (6時間)